

第12回リサイクルバザー開催



烏山地域
オウム真理教対策
住民協議会

今年も4月14日(土) 烏山地域オウム真理教対策住民協議会による、第12回リサイクルバザーを実施しました。雨マークの続いた一週間前、前日には曇りマークに変わって、当日は薄日のさす、暑くない天気でした。相変わらず一時間前には、並べられた商品の前に立ち、取り置き状態のお客さんに囲まれて、動くことも出来ません。係員からマイクで注意が流れても、手はつけてないと座り込んでいます。10時開始と同時に、本部テーブルの生活雑貨や、化粧品・食品はあっと言う間になくなり、嬉しい悲鳴でした。靴・バックも残るのは、サイズの合わない物や、ちょっと難アリの品ばかり。中央にあった、タオル・カバーを含む雑貨も、値段の安さにほとんど完売でした。さすがに衣類やせとものは、最後まで会場を飾ってくれて、終了1時30分に店仕舞です。すこし遅れて来場したお客さんに、



第12回リサイクルバザー会場の模様

早すぎる終了時間と、お叱りをいただきました。バザー開催にあたり、ご協力いただいた地域

の皆さまと、準備のために商品整理や値付け作業に、裏方として手伝ってくださった方々、当日も売り子として、多数の力を貸していただきました。区関係の職員の皆さまのご協力も大きな支えとなりました。一年に一度の地域の皆さまとのふれあい、顔なじみも多くなり「来年も楽しみに品物を用意しておく

からネ」と声をかけていただき、そんな皆さまの後押しがあるから、私たちは活動を続けてこれたのだと、改めて思い知らされました。当日のバザーの売上と募金をあわせて656,120円となりました。活動資金に大切にに使わせていただきます。多くの皆さんご協力ありがとうございました。

平成30年度
烏山地域
オウム真理教対策
住民協議会
総会開催

平成30年度烏山地域オウム真理教対策住民協議会総会が、4月25日烏山総合支所4階会議室にて開催された。

来賓として世田谷区から、保坂区長が出席した。総会は古馬会長の開会挨拶、瀧澤実行委員長の議長で始まり、平成29年度事業・決算・監査の各報告が行われた。

事業報告では、オウム真理教の監視では365日の監視活動、年2回の抗議デモ・学習会、募金活動は一年で22回、ニュースは年10回発行、リサイクルバザーの開催が報告された。

事業・決算・監査の報告が全員の拍手で承認され、平成30年度事業計画・予算案の提案へと議事が進められた。

事業計画では、これまでの各種活動の継続が提案され、承認された。総会終了後、第160回実行委員会が開催され、第36回抗議デモ・学習会の実施計画が審議され終了した。

「地下鉄サリン事件から23年の集い」に参加して

投稿

3月17日、「地下鉄サリン事件から23年の集い」が開催された。「そのとき被害者は、警察は」をテーマに、第一部は、高橋シズエさんの「心に残ったしわ」の講演で、犯罪被害者の心を一度丸めた紙に例えて、広げても元のしわのない状態には戻らない、それでも広げようとすれば手を差し伸べてくれる人があるので声を上げてほしいと呼びかけていた。高橋さんのいつもエネルギッシュな姿に脱帽するばかりである。また元警視庁捜査第一課理事官、原雄一氏の「オウム真理教の捜査を振り返って」の講演では、当時、捜査にあたっていた時に、誤って教団に入信した人の「今さら戻れない」と涙する姿が本当に可哀想だった。オウム真理教が危険な集団だという事を再認識してほしいと訴えていた。

第二部のシェアタイムは、初めての試みのグループ討議になった。参加者の中に大学生と思われる若者が目立つのも、高橋さんが大学へ出向いて積極的に講演をしている影響で、若者が多く訪れているのが想像できる。ある大学生から地下鉄サリン事件の映像を見ても実感がわかない、なぜオウム真理教を怖がるのかも良く分からないという。やはり、という気持ちになった。若者たちの参加を促すことで、オウム事件を知らない若者の心に知識を与え、警鐘を鳴らすことができるのだと思う。

この集いに参加して、地下鉄サリン事件を忘れないでほしいという想いが伝わってきた。私達の活動が事件の風化を防ぐ一助になればと強く思った。

烏山は、足立の協議会を応援する

寄稿

3月24日（土曜日）、足立入谷地域オウム真理教（アレフ）対策住民協議会（水上久志会長）は、いまだに活動をしているアレフに抗議するための、18回目のデモ行進を行なった。

デモには、当烏山地域オウム真理教対策住民協議会から古馬会長を含め3人が参加した。参加者は、地域の町会や協議会メンバー、足立区長、足立区議会議長をはじめ区議会議員13人、東京都議会議員2人、衆議院議員1人など総勢210人となった。

デモ行進の前に、近藤区長は、「オウム真理教（アレフ）との裁判では、協議会の皆さんがバスを仕立て応援に来ていただいた結果、勝利することができた」と挨拶し、古馬会長も「アレフの

本拠地は足立。皆さんの活動が日本中に波及する重要な活動で、烏山も皆さんを応援する」と挨拶した。

10時、水上会長らを先頭にオウム断固反対の横断幕やのぼり旗を掲げながら、「反社会的集団オウムはいらない」「安全に暮らせるまちを返せ」「我々は解散するまで断固戦うぞ」などとシュプレヒコールを続け、区立足立中央公園からデモ行進が始まった。

アレフ施設前で、抗議文を読み上げ手渡そうと何度も呼びかけたが、誰も姿を見せなかった。抗議文は、施設のポストに投函した。

その後も、元入谷南小学校までデモ行進を続け、11時に解散した。



住民協議会活動報告

4月12日（木）	リサイクルバザー物品受付
4月13日（金）	リサイクルバザー値付け作業
4月14日（土）	第12回リサイクルバザー開催
4月24日（火）	編集会議 協議会ニュース第175号初校正

4月25日（水）	烏山地域オウム真理教対策住民協議会総会
5月7日（月）	編集会議 協議会ニュース第175号再校正
5月8日（火）	事務局会議
5月12日（土）	第36回抗議デモ・学習会
5月15日（火）	協議会ニュース第175号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。